



N041 宇都宮市の特別支援教育を振り返って Part 1

— 「宇都宮市特別支援教育基本計画 ～うつのみや子どもかがやきプラン～」の評価 —

平成19年4月の学校教育法の改正による「特殊教育」から「特別支援教育」への転換に伴い、宇都宮市においては基本計画を策定し、「特別支援教育」の充実を図ってきました。

【基本理念】

特別な支援を必要とする児童生徒一人ひとりが
自己の能力を最大限に発揮し
自信と意欲をもって社会に参加できるよう
一人ひとりの成長を大切にしたい教育を目指します

【基本方向】

- 1 特別支援教育の啓発
- 2 特別支援教育の体制の整備
- 3 教職員の専門性の向上
- 4 幼児期からの一貫した支援



本計画は、平成27年度までの9年間の計画であり、現在、「(仮称)第2次宇都宮市特別支援教育基本計画」の策定を進めているところです。

そこで、本号からの「特別支援教育豆だより」では、基本計画に基づく宇都宮市の特別支援教育推進の成果と課題について整理していきます。今回は、「1 特別支援教育の啓発」についてです。

【基本的取組】

- | | |
|--|--|
| <p>① 特別支援教育の理念を踏まえた学校経営
(教職員への啓発)</p> <p>⇒・総合訪問・要請訪問における指導助言の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修・教育講演会の実施 ・特別支援教育豆だよりの発行 | <p>② 地域・保護者への啓発</p> <p>⇒・かがやきだよりの発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親学出前講座の実施 ・教育センター夜間・土曜講座の実施 ・中学校特別支援学級生徒の写真展の実施 |
|--|--|



【特別支援教育推進に係る

教職員へのアンケート調査】より

- ① 学校だよりや教育センターの啓発資料などにより、特別支援教育の考え方や発達障がいについての理解が、保護者や地域にも浸透している。
平成19年度 5.0%
⇒ 平成25年度 62.3%
- ② 学校経営の中で特別支援教育の理念が生かされ、全職員で特別支援教育を進めている。
平成19年度 50.1%
⇒ 平成25年度 97.3%



【評価】 ○：成果 ●：課題

- 学校において特別支援教育の理念が浸透してきており、全職員での取り組みが行われている。
- 保護者や地域への啓発については、計画策定時よりも特別支援教育への理解が図られてきているが、今後さらに啓発を進めていく必要がある。